

地域協働学校だより No.5

令和2年11月10日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

地域協働学校からのご報告です。11月2日に行われた開校115周年記念集会の様子を見学させていただきましたので、ご報告いたします。また、緑のボランティアが115周年記念のお花の植え付けをしてくださいましたので、ご紹介いたします。

開校115周年記念集会

11月2日、市谷小学校開校115周年記念集会が行われました。



今年は新型コロナウイルス感染予防のため様々な行事が中止・縮小される中、115周年記念集会も密を避けて低学年の部、中学年の部、高学年の部が時間をずらして行われました。それぞれ司会進行は6年生で、①開会の言葉、②児童代表の言葉、③動画、④市谷レンジャーたちによるクイズ、⑤校長先生のお話、⑥校歌斉唱、⑦終わりの言葉、と1時間足らずの中に盛りだくさんな立派なプログラム



115周年キャラクター
115（いいこ）まなぶくん

でした。来賓やスピーチがない代わりに動画やクイズで学校の歴史や豆知識を学べるアットホームな集会となりました。

体育館に入ってまず見事な飾り付けに驚きました。各クラスごとに絵を描いて作った16本の長い旗状の布が頭上に飾られ、ステージには5年生が段ボール箱に描いた115周年キャラクターの大きな絵がありました。

動画の作成は6年生たちが行い、市谷小とその校舎の歴史や学校ゆかりの人と行事などを学べる内容でした。集会ごとに違う内容で作っており、低学年向けにはひらがなで書いてクイズを多めにしたり、中学年向けには学校の取り組みとして環境対策や地域交流をとりあげるなど、それぞれの対象学年に合わせて工夫した内容の素晴らしい動画を作っていました。自分たちで調べて、伝えたい内容を上手にプレゼンテーションしている姿は、まさに学校が押し進めている「主体的な学び」と重なりました。

市谷レンジャーによるクイズでは、それぞれのシンボルカラーのマントとフェイスシールドをつけたレンジャーたちがステージに上ってパフォーマンスとクイズで会場を盛り上げました。「泉崎校長先生は何代目の校長か」「市谷小には全部で教室が何個あるか」など、集会ごとに違う楽しいトリビアクイズがありました。



校長先生からは、校章と校歌についてのお話がありました。校章の中央の星型は市谷の「市」を図案化したも

ので、周りの光彩は市谷小の児童があらゆる世界に向かって光り輝くように、との意から制定されたそうです。昔の言葉で書かれたちょっと難しい校歌も、校長先生に歌詞の意味を説明していただいてからみんなで歌うと、より心を込めて歌えたように思いました。

通常の周年行事とは違った形での 115 周年記念集会でしたが、児童たちには、より印象深く、また学びの多い集会になったのではないかと思います。6年生を中心とした各学年の代表委員の皆さん、お疲れ様でした。またご尽力いただいた先生方、ありがとうございました。

みどりのボランティア周年植替え

コロナ禍で自粛していたみどりのボランティア活動ですが、子供たちの登校再開と共に動き始めました。

2学期に入り市谷小学校開校・幼稚園開園の周年行事にみどりのボランティアでも何か協力したいということで『周年の花文字』とみどり門側道の『ミニハンギングバスケット』を作成しました。作業を行った 10 月 21 日(水)は晴天に恵まれ、学校から発注いただいた苗(マリーゴールド・ガーデンシクラメン・アリッサム)250 ポットを無事植え付けることができました。



5年前の 110 周年の際も同じ企画を行いました。今年は第二校庭の花壇2面ともお借りして、文字も増やして「市谷小 115・55」としました。いきなり植えるのではなく仮設置のお花を屋上から交代で確認して指示、降りては植えまた最終確認と…屋上まで何往復もする大変な作業でした。この日は9人のメンバーで準備片づけまで3時間弱かかり、暑さ疲れはありましたが充実した時間でした。また、ミニハンギングですが、12 個のバスケットに可愛らしく一文字ずつ「市谷小 115 幼 55 おめでとう!」とつけました。

今この花壇の維持管理が始まっていますが、「いつやったの?」「きれいだね。読めるよ」「外からでもよく見えたわよ」など子どもたちや地域の方が声をかけてくれます。保護者の方も、コロナ禍で学校に立ち入る機会が少なくなりましたが、花文字は第二校庭の外から、ハンギングはみどり門の外にありますので通りかかった際はご覧ください。



市谷小学校みどりのボランティア
主な活動：
学校行事に合わせた植樹/飼育栽培委員会との植替え/お花の維持・花壇の管理
※メンバー随時募集中！
お問い合わせ：
市谷小学校 白崎副校長先生まで



